

経営比較分析表（平成28年度決算）

鳥取県 三朝町

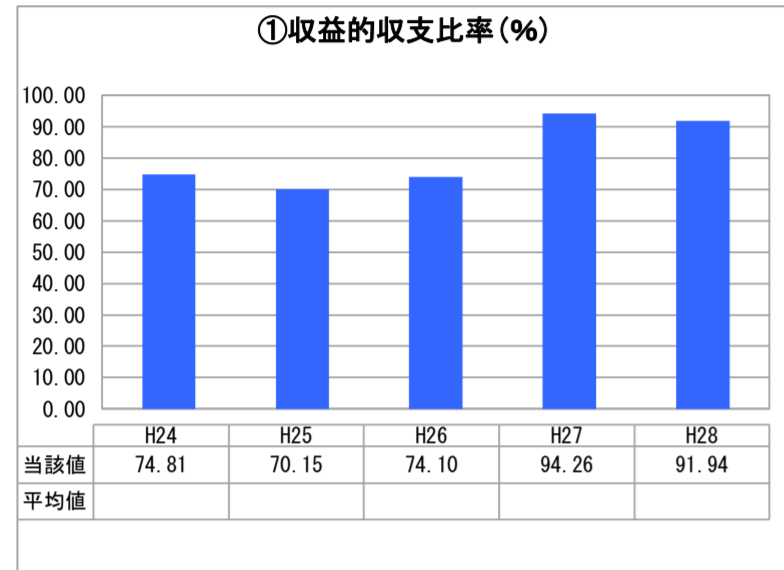
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	68.19	100.00	3,456

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,720	233.52	28.78
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,553	1.92	2,371.35

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



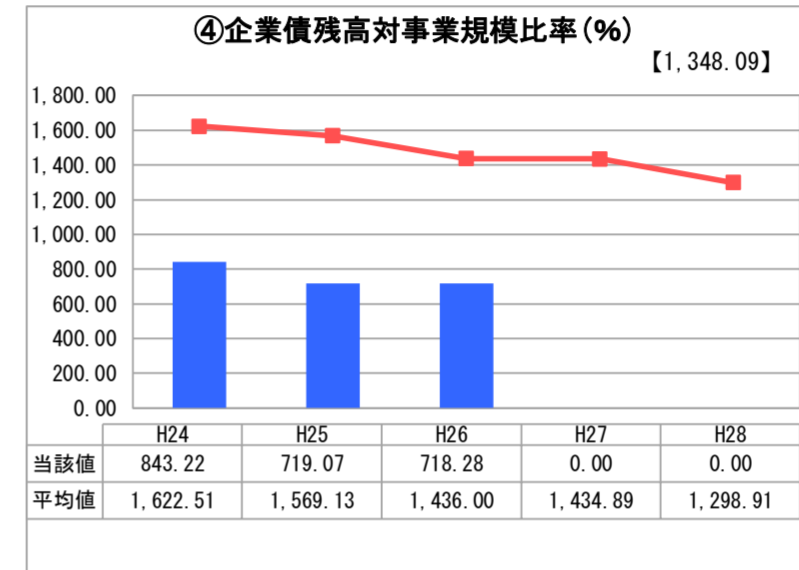
「単年度の収支」



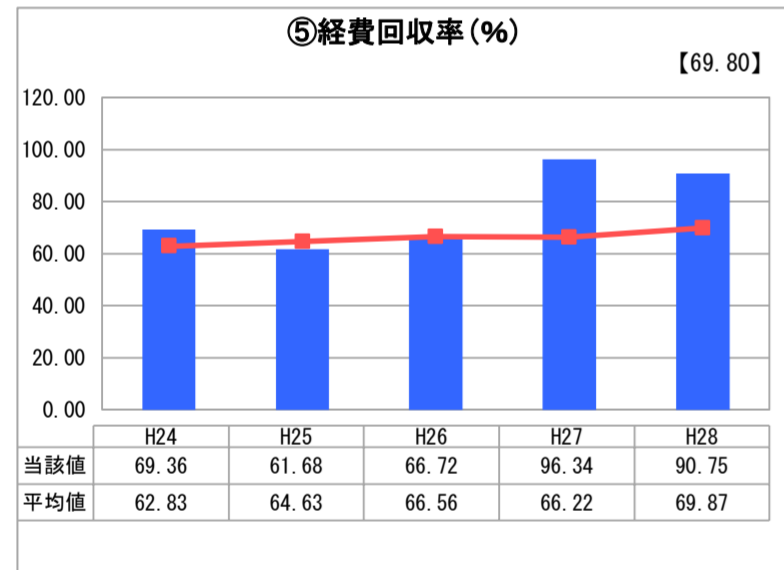
「累積欠損」



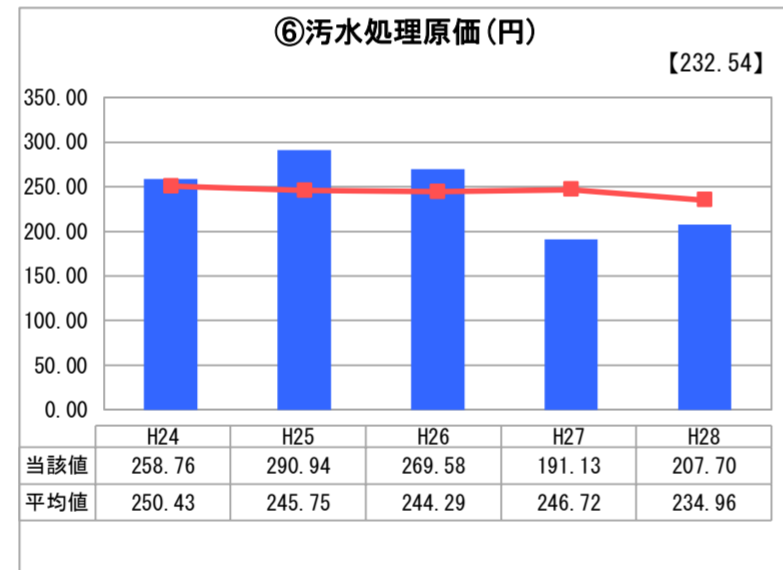
「支払能力」



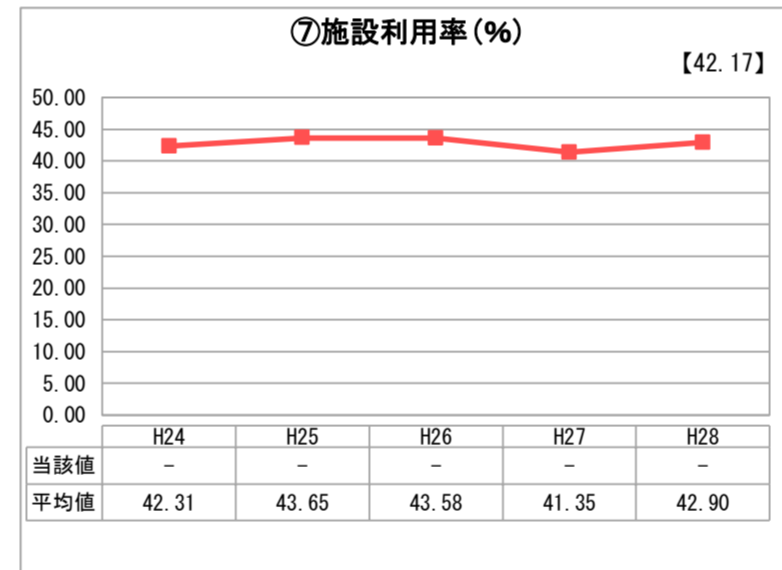
「債務残高」



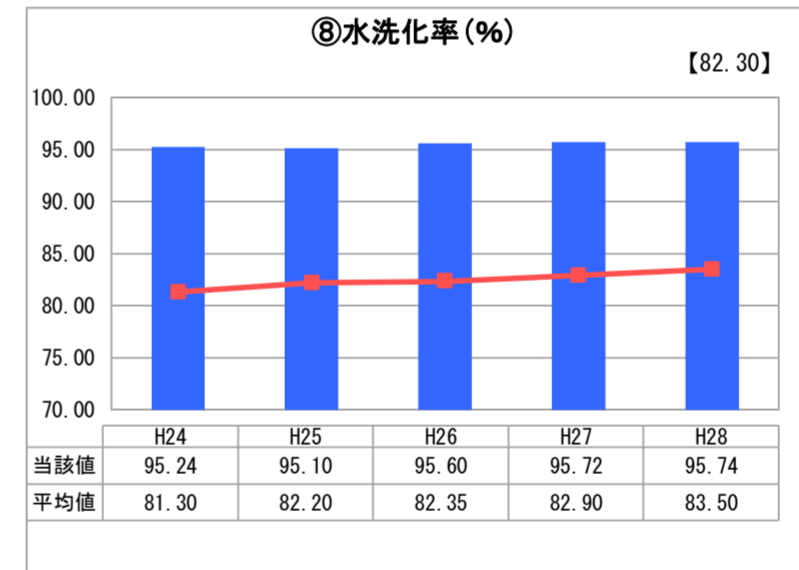
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

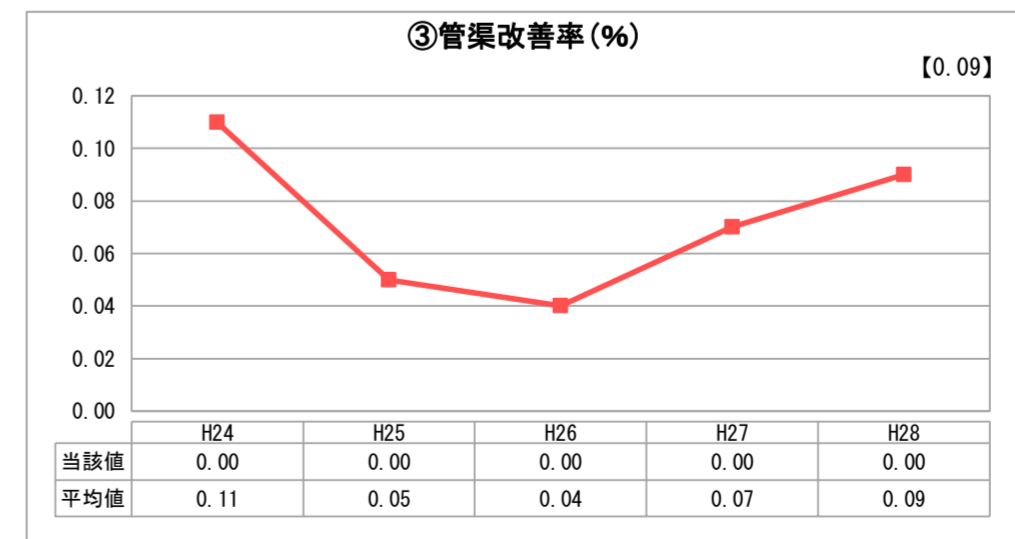
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収入：人口の減少に伴い、料金収入は年々減少している。このため、徴収率を高めるとともに、人口推移を考慮した料金体系の見直しを図る必要がある。

支出：施設の修繕は出来る限り職員が直営で対応し、維持管理経費の節減に努めている。一方で、施設の老朽化に伴い長寿命化計画を策定し、施設更新や維持管理コストの平準化を図る。

2. 老朽化の状況について

住民生活に重大な影響を及ぼす事故の発生や機能停止を未然に防ぐとともに、施設更新や維持管理コストの平準化を図るため、平成26年度に長寿命化計画を策定した。この計画に基づき、老朽化の対策を進める。

全体総括

経営環境が厳しさを増す中で、長期的かつ安定した経営基盤の強化を図ることが必要である。

- 1 人口が減少する中で、料金収入を確保するため徴収率を高めるとともに、料金体系の見直しを図る。
- 2 維持管理経費を抑制するなど、経費の削減を図る。
- 3 長寿命化計画に基づき、老朽化の対策を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。